

原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：令和4年6月10日（金）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：黒川長官官房総務課長

<本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから6月10日の原子力規制庁定例ブリーフィングを始めます。

○黒川総務課長 報道官の黒川です。

お手元の広報日程に沿って説明をいたします。

まず、2ページ目ですけれども、6月14日の（5）第1054回審査会合です。

議題は1つで、島根2号機の設工認です。

これまで2回審査会合をしてきましたけれども、5月に申請の補正があったので、その説明などということのようです。

次が、3ページ目にいきまして、6月16日の（8）新規制要件に関する事業者意見の聴取会合です。

これは、事業者の意見を聞きたい案件が出るたびに不定期にやっているものでありますけれども、今回の議題は、サンプルスクリーンを通過したデブリが炉心に与える影響についてということになります。

これは、事故時に配管が破断して、水を炉心に戻すときにデブリが混ざってしまって配管が詰まってしまうみたいな、そういった問題への対応を検討しているというもののようですけれども、これは一昨年12月と昨年5月にも同じ議題で議論をしているようで、今回3回目ということになります。BWR（沸騰水型原子炉）とPWR（加圧水型原子炉）、それぞれについて、事業者から代表して検討状況の説明、対策の状況の説明などがあるということのようです。

次が、6月17日の（10）行政事業レビューの外部有識者会合です。

これは、毎年この時期に全省庁共通で、予算事業の幾つかをピックアップして、執行状況の事後点検をするものでありますけれども、これは今日もやっていますけれども、今日と来週の17日ともう1回の3回に分けて、計20の事業についてレビューを行うものの2回目となります。

次が、3ポツの要人面談のところですが、6月15日に島根県知事が来訪されます。

対応するのは萩野長官となります。取材は頭撮りありとなっております。

5月24日にも島根県知事は来られましたけれども、その後、再稼働への同意を表明したということもありましたので、もう一度要望に来られるということでございます。

次が、委員の現地視察のところですが、6月16日から17日にかけて、山中委員が1F（福島第一原子力発電所）を視察します。

取材対応は、発表しているとおおり、17日のほうで3号機の建屋に入るところと、東京電力との意見交換の頭撮りの部分と終了後のぶら下がりが可能になっています。

こちらからは以上です。

<質疑応答>

○司会 皆様からの質問をお受けします。いつものとおおり所属とお名前をおっしゃってから質問のほうをお願いいたします。

質問のある方は手を挙げてください。

よろしいでしょうか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。ありがとうございました。

—了—